

東京外かく環状道路の主な経緯 (「外環の2」「武蔵野市」を中心に)

2011・11・11 (資料 9-6)

第1次修正版 2012・5・21

第2次修正版 2013・4・14

第3次修正版 2015・3・13

- 1966年 7月 都市計画決定 (高架方式埼玉県境～東名高速間 18km)
- 1967年 6月 武蔵野市議会「外環道路反対特別委員会」を設置
- 1970年 5月 根本建設大臣「凍結宣言」(参議院の建設委員会)
(S45年) 「地元と話し得る条件が整うまでは強行すべきではない」
- 1986年 関越道～埼玉県境都市計画変更 地上部街路、附属街路の都市計画廃止
- 1994年 3月 大泉・和光間供用
- 1999年 10月 石原東京都知事 武蔵野市・練馬区の現地視察
- 2001年 1月 扇国土交通大臣・石原都知事 三鷹市・武蔵野市の現地視察
(H13) このときの扇千景大臣、石原慎太郎知事の発言はマスコミ(TV、新聞)で報道された。扇大臣、石原知事も高架式が地下になる時点で、地上に道路が残ることは全く知らなかった(聞かされていなかった)と思われる。

4月 「東京外かく環状道路(関越道～東名高速)の計画のたたき台」(地下構造)公表

*「現計画の自動車専用道路と幹線道路の広域機能を集約して、全線地下構造の自動車専用道路とします。」

*地上部の利用について(検討するためのメニュー)それぞれの地域の実状や、地域の意向に合わせて検討するためにメニューを示している。

- ①公園や歩行空間を整備する場合
- ②バス路線など公共交通を整備する場合
- ③幹線道路を整備する場合
- ④住宅・地域コミュニティを維持する場合

■第1回「話し合の会」資料-6, 外環ジャーナル4号(第4回「話し合の会」資料4-7)

参照

- 5月 第三小学校体育館で「計画のたたき台」についての説明会
- 12月 東京環状道路有識者委員会設置 ～2001年11月第13回終了
- 2002年 1月 沿線区市長意見交換会～2009年4月まで9回開催
- (H14) 4月 有識者委員会が「第1次提言」
- *必要性の議論を進めるにあたっての住民と行政の市政のあり方についての助言
- ・必要性の検討にあたっては、「計画ありき」、「建設ありき」で必要性の議論をしてはならず、整備しなかった場合も含めて議論すべきである。
 - ・必要性の議論にあたっては、整備された場合の効果だけではなく、整備した場合の周辺への影響はもちろんのこと、整備しなかった場合の都市の生活環境や都市活動への影響など、外環の功罪について議論することが大切である。

■外環ジャーナル7号(第5回「話し合の会」資料5-5) 参照

- 6月 PI 外環沿線協議会発足 ～2004年10月第42回終了

11月 有識者委員会最終提言

* 地下案の提示、インターチェンジなし

- ・「今後の議論においては、移転家屋数をできる限り少なくして、地元住民への影響を軽減化することが、もっとも重要視すべき観点である。」
- ・「シールドトンネルの地上部については、現状の市街地を維持することが可能である。」

■追加資料請求——外環ジャーナル9号(資料10-3参照)

2003年 1月 国土交通省・東京都「東京外かく環状道路(関越道～東名高速間)に関する方針について」公表 (H15)

1月 沿線区市長意見交換会(第2回)

* 武蔵野市長(当時): 大深度で高速道路だけをつくるだけでいいのか。時間をかけてグリーンベルトを構成していく等の大胆な構想も必要なのではないか。

3月 国土交通省・東京都「東京外かく環状道路(関越道～東名高速間)に関する方針について」公表

* 極力大深度地下にする。 地元において地上部整備の方向が定まった場合、大深度区間であっても地元の意向を踏まえながら、その整備を支援していくものとする。なお、青梅街道から目白通りについては地元の意向を踏まえながら地上部街路の設置を検討する。

■外環ジャーナル12号(第5回「話し合いの会」資料5-6) 参照

2003年1月、および3月に同じタイトルの「方針」が出されている。

5月 * 第19回PI外環沿線協議会(5月19日) 成田東京都外かく環状道路部長「高速道路の必要性の有無と地上部街路の議論は切り離し、高速道路の議論がある程度集約された段階で地上部街路の議論を行うこととする。外環にかかわる計画の見直しにあたり、地上部街路については街路の機能として不必要な部分は廃止となるし、必要な部分は整備することとなる。その際、高速道路と地上部街路をあわせて都市計画変更することとなる。」

5月 沿線区市長意見交換会(第3回)

* 武蔵野市長: 地上部の活用は、総合的な都市計画として区市単独で考えるのではなく、東京都が中心となって、国がバックアップすべき。

6月 PI外環沿線協議会「中間とりまとめ」

■外環ジャーナル12号(第5回「話し合いの会」資料5-6) 参照

* 「中間とりまとめ」1P.3. これまでの協議会の経過(4) 地上部の街路に付いて
・国と東京都が合意した「方針」のなかの地上部街路については「外環に係わる計画について、いま、議論している高速道路の必要性の有無と地上部街路の議論は切り離し、高速道路の議論がある程度集約された段階で地上部街路の議論を行うこととする。外環に係わる計画の見直しにあたり、地上部街路については、地元の意向を踏まえて街路の機能として不必要な部分は廃止となり、必要な部分は整備することとなる。その際、高速道路と地上部街路ををあわせて都市計画変更することとなる」ことが確認された。

8月 沿線区市長意見交換会(第4回)

- * 武蔵野市長：地上部で長年権利制限をかけてきた人たちへの補償を考えてもらいたい。まちづくりとセットで考えてほしい。例えばグリーンベルトなど東京都のまちづくりとして一定のオープンスペースが必要でないのか。今の段階でそういうことを議論しておくべきではないか。

2004年10月 PI 外環沿線協議会「2年間のとりまとめ」

2005年1月 PI 外環沿線会議発足 ～2007年10月第26回開催 これ以後休止状態

(H17)

- * 「外環の地上部の街路について」平成17年1月東京都都市整備局

外環の2の都市計画 高速道路の外環にあわせ、都内の都市計画道路ネットワークの一部として「外環ノ2」が都市計画決定されています。

- * 外環地上部街路について基本的な考え方として以下の三つを公表

①現在の都市計画区域を活用して道路と緑地を整備

②都市計画の地域を縮小して車道と歩道を整備

③代替機能を確保して都市計画を廃止

■第1回「話し合いの会」資料-6のP.9 外環の地上部街路について基本的な考え方公表

追加資料—平成17年1月東京都 都市整備局 「外環の地上部街路について」(資料10-4)

9月 国土交通省・東京都「東京外かく環状道路(関越道～東名高速間)についての考え方」公表

2006年6月 都市高速道路外郭環状線(世田谷区宇奈根～練馬区大泉町)都市計画案及び環境影響評価準備書の公告・縦覧及び説明会を開催

(H18)

6月 「これまでに頂いたご意見・ご提案と計画の具体化の検討などにおける考え方」発表

11月 環境影響評価準備書に対する知事の意見書送付
環境影響評価書を国土交通省に送付

2007年1月 都市高速道路外郭環状線(世田谷区宇奈根～練馬区大泉町)都市計画案に対する区市町村意見回答

(H19)

- * 武蔵野市長：外環本線地下化の都市計画変更賛成。外環ノ2については、本線と一体のもので、本線地下化によって都市計画変更が必要な路線である。外環ノ2の必要性は認識していない。都は廃止することも含め、計画の方向性、検討のプロセスを明らかにせよ。外環ノ2の方向が定まるまでは、本線の着手を認めるものではない。

3月 東京都都市計画審議会 原案通り議決

4月 都市計画変更決定(地下方式) 附属街路廃止

12月 第3回国土開発幹線自動車道建設会議(国幹会議)を開催、基本計画を承認

2008年1月 基本計画決定告示

(H20)

3月 「外環の地上部の街路について(検討の進め方)」東京都都市整備局は地上部街路の必要性やあり方について、「環境」「防災」「交通」「暮らし」の4つの視点で、「広域的な視点」と「地域的な視点」から検討し、都市計画に関する都の方針を取りまとめていくとしている。

このような検討の進め方について、住民に説明会はなかった。

■追加資料「外環の地上部の街路について 検討の進め方」参照(資料-6では表紙のみ)

- 10月 武蔵野市外環市民参画（地域PI）検討会開催 ～12月まで3回開催
- 10月 吉祥寺東町在住の弁護士・上田誠吉氏が東京都に対し、「外環の2計画廃止」の訴訟を提訴し、同氏の死後、夫人が継承した。2015年1月20日に結審し、6月30日に判決の予定。

2009年 1月 「対応の方針（素案）」公表

(H21) 4月 「対応の方針」とりまとめ

第4回国土開発幹線自動車道建設会議の開催（基本計画から整備計画へ）

5月 整備計画決定 事業化補正予算 71億円

8月 第1回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催

■「資料6」東京都都市整備局「地上部街路の概要、経緯」

* 武蔵野市長の外環道路特別委員会での発言「外環の2に関しましては、再三繰り返しておりますけれども、必要性については甚だ疑問であるということから、東京都に対しましては廃止を含めた議論をきちんとしてほしい。その議論に当たって必要ないろいろな情報、データを公開してほしい。地域の皆さん、地元の皆さんの声を十分聞いてほしいということをお願いしてきた経過もあって、都の方も必要性の有無から議論しますということのもとに、今回の外環の地上部街路に関する話し合いの会提案という風になったのかなと理解してございます。」

10月 予算71億円のうち9割凍結、5億円となる

10月26日 第2回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催

10月 6区市長の外環についての意見書

12月 事業の概要及び測量等の実施に関する説明会開催

2010年 1月26日 第3回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催

(H22) 4月 予算57億9千万円

4月26日 第4回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催

■資料4-7 外環ジャーナル4号（前述「たたき台」の内容について）

(6月 東京外かく環状道路と名古屋2環と合わせて、特別措置法による予算9千億円)

6月11日 第1回「練馬区における地上部街路に関する話し合いの会」開催

（練馬区は「話し合いの会」全6回、「広く意見を聴く会」3回開催して終了）

7月28日 第5回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催

■資料5-5 外環ジャーナル7号（「東京環状道路有識者委員会」提言）

■資料5-6 外環ジャーナル12号（H15年1月&3月に発表した「方針」ほか）

10月14日 第6回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催

2011年 1月28日 第7回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催

(H23) 3月11日 東日本大震災（含む福島原発事故）

3月 武蔵野市議会 国・都に外環に関する意見書を提出

5月9日 第8回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催

東日本大震災後の社会的な大変化を踏まえた東京都の意見提出を要望

7月25日 杉並区・武蔵野市合同の説明会（国交省主催）本宿小学校

7月27日 第1回「杉並区における地上部街路に関する話し合いの会」開催。

（現在、第12回まで開催）

- 11月11日 第9回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催
- 12月22日 石原都知事 記者会見での「外環」に関する発言
2012年1月20日、3月2日、3月16日と「外環の2は無い」との発言を繰り返している。（その後、都知事を辞職。）
- 2012年2月10日 第10回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催
- (H24) 5月24日 第11回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催
- 9月5日 東京外かく環状道路（関越東名）の着工式
- 9月27日 東京都建設局は大泉 JC 地域の1kmの道路新設の事業認可を取得。
- 10月4日 第12回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催
- 2013年2月7日 第13回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催
- (H25) 3月28日 練馬区の住民が大泉 JC の1Km部分の外環の2の事業認可の取り消しを求めて国を提訴。
- 4月25日 第14回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催。
- 7月19日 第15回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催
- 9月2日 大深度地下使用に向けた説明会（本宿小学校）
- 9月10日 第16回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催
- 11月8日 「外環本線」都市計画法上の事業化申請。大深度地下法による許可申請
- 11月7日 第17回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催
- 12月 「練馬区における外環の地上部街路のあり方（複数案）」発表
- 2014年3月28日 大深度地下使用の認可。
- (H26) 都市計画事業承認及び認可の告示
- 4月17日 第18回「武蔵野における地上部街路に関する話し合いの会」開催
- 4月24日 都市計画事業についての説明会（建物制限、先買い権、家屋調査など）
- 6月 練馬区における外環の地上部街路について/これまでの検討の総括
都市計画変更素案のあらまし（練馬区間）（パンフレット）（第19回参考資料）
- 8月5日 「地中拡幅部の都市計画変更素案の説明会」開催（本宿小学校）
- 8月21日 「第19回武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」開催
- 9月18日 青梅街道インターチェンジ事業認可取消訴訟提訴
- 11月18日 「外環の2」練馬3キロ区間都市計画変更決定（幅員22mに）
- 12月3日 「外環の2」住民提案制度による一部廃止変更申請受理*
杉並区の善福寺の295mについて、古川英夫さん他149名による提案。
- 12月17日 武蔵野市議会が国、都へ外環本線と外環の2について意見書を提出。
- 2015年1月20日 武蔵野外環の2裁判結審。判決は6月30日の予定。
- 2月6日 地中拡幅部の都市計画変更決定
- (H27) 3月27日 第20回『武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会』開催予定
- 5月15日 東京都都市計画審議会*都市計画廃止変更が付議される予定。

註：赤字は東京都などが公表した「方針」「進め方」など。

青字は「話し合いの会」に提出された資料。

緑字は「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」

構成員 西村 まり作成